

## 前年度に登録済みの伝票を複写し、新しい伝票を登録する

### 1. 開始する

**伝票検索** ボタンを押します。

### 2. 複写元となる前年度の伝票の条件を設定する

[\[仕訳処理 - 条件設定\]](#)画面が開きますので、前年度の集計期間で条件を設定します。

※上の図は、[伝票検索画面の形式](#) ([\[仕訳処理-設定\]](#)画面の[\[運用設定\]](#)ページで設定) が「標準形式」の場合の画面です。

### 3. 画面に表示する

[画面] ボタンをクリックすると、条件に一致した伝票が画面に表示されます。

条件に一致した伝票が複数ある場合は、**前伝票**・**次伝票** を押すと、表示する伝票を切り替えられます。

#### 4. 複写する

**複写** を押します。  
複写された内容を確認し、必要に応じて伝票の内容を修正します。

行	借方	金額	貸方	金額	備考
	部門/勘定科目/補助科目		部門/勘定科目/補助科目		
1	000 その他 160 商品及び製品	3,386,000	001 第一営業部 614 期末商品及び製品増加高	3,386,000	期末増加し
2	000 その他 160 商品及び製品	3,259,000	002 第二営業部 614 期末商品及び製品増加高	3,259,000	期末増加し
3	000 その他 160 商品及び製品	1,988,000	011 札幌支店 614 期末商品及び製品増加高	1,988,000	期末増加し
借方合計		27,702,000	貸方合計	27,702,000	
			貸借差額	0	

[ 新規 : 2012/03/31 0:00:00 ] AcAdmin

F1 操作説明 F2 伝票発行 F3 付属 F4 前伝票 F5 次伝票 F6 複写 F7 F8 反対仕訳 F9 F10 中止 F11 F12 閉じる

#### 5. 登録する

**終了** を押し、続いて **登録** を押します。

##### 参 考

**入力時確認** ([\[仕訳処理-設定\]画面の\[運用設定\]ページ](#)で設定) が「確認しない」に設定した場合は、**終了** は表示されず、**登録** だけで登録します。

##### 参 考

前年度の仕訳を複写する場合は、前年度と今年度のマスター（勘定科目・補助科目・税区分）が関連づいている必要があります。

翌会計年度作成を実行した後に、マスターを変更した場合には、関連付けが解除される場合があります。その場合は、前年度の仕訳を複写する前に、あらかじめ、各メニューで、関連付けの設定を行っておく必要があります。

##### 《 勘定科目の関連付け 》

[\[勘定科目登録\]メニュー](#) ([\[導入処理\]-\[科目体系登録\]-\[勘定科目登録\]メニュー](#)) で、前年度との勘定科目の関連付けを行います。

##### 《 補助科目の関連付け 》

[\[補助科目登録\]メニュー](#) ([\[導入処理\]-\[科目体系登録\]-\[補助科目登録\]メニュー](#)) で、前年度との勘定科目の関連付けを行います。

##### 《 税区分の関連付け 》

[\[税区分登録\]メニュー](#) ([\[導入処理\]-\[消費税基本登録\]-\[税区分登録\]メニュー](#)) で、前年度との勘定科目の関連付けを行います。